地域企業のDXに寄り添う

富士フイルムBI山形株式会社「人・モノ・コトをつなぐ」

複写機やOA機器の販売会社として創業した富士フイルムBI山形株式会社。デジタル化や働き方の変化に対応し、ネットワーク、クラウド、セキュリティ、業務システムなどを扱うICTソリューション企業へと事業を広げてきた。現在は地域企業のDX推進を支援するパートナーとして地域のお客様に寄り添いながら事業を展開している。熊沢好信代表取締役社長にインタビューした。

―これまでの歩みと現在の事業内容をうかがいます。

当社は1984年にOA機器販売会社として創業し、2021年に社名変更（旧・山形ゼロックス）を経て「社会になくてはならない会社になろう」という社訓を大切にしながら、本年創業43年目を迎えることができました。創業当時は、複写機を中心とした紙ベースの情報管理が主流で、企業や行政にとって非常に重要な設備でした。

富士フイルムBI山形㈱
〒990−2492
山形市鉄砲町2−17−48
☎023−624−2468

その後、アナログからデジタル、そしてネットワークへと移行し、複写機も複合機へと進化してきました。単に機器を提供するだけでなく、ネットワーク環境の構築、サーバーやクラウドの活用支援、セキュリティ対策、業務システム導入の支援など、お客様の事業活動を支えるICTソリューション企業へと進化してまいりました。

―地域のお客様と向き合ううえで大切にされていることは。

「お客様の声に真摯に耳を傾けること」です。ICTやDXという言葉が広く使われていますが、企業ごとに抱える課題は異なります。そのため「まずお客様を理解すること」から始めます。困ったときに真っ先に相談いただける存在であり続けること、そして地域企業の成長を自分たちの喜びとして共有することが、私たちの原点です。

先ほども触れましたが、現在は複合機やオフィス機器の提供に加え、企業のICT環境全体を支援しています。具体的には、ネットワーク構築やクラウド環境整備、サイバー攻撃対策を含むセキュリティ強化、情報共有システムの導入、テレワーク



〈半歩先のミライへ〉総務部で採用や広報物のデザイン制作を担当する伊藤沙月さん。若い社員が挑戦できる環境づくりを目指し、会社の魅力を社内外に発信している。写真は伊藤さんがデザインした公式キャラクター「ドキュタン」

の環境整備、業務効率化を実現する各種ソリューションの構築・運用支援を行っています。

最近ではＡＩやクラウドサービスを活用した業務改革の相談も増えており、お客様の状況に合わせたＤＸ推進の伴走支援にも力をいれています。社名にある「ＢＩ（ビジネスイノベーション）」には、お客様の働き方や業務の進め方をより良いものに変化していきたいという思いを込めています。



「お客様を理解することから始めよう」と語る熊沢社長（写真中央奥）。県内７カ所に事業所を置き社員約140名。社員同士の連携を大切にしながら、地域企業のICT活用を支援する富士フイルムBI山形㈱

―本県企業の課題とＩＣＴの可能性についてうかがいます。

県内企業からの相談で特に増えているのが、「人材確保・人財育成」「業務の属人化」「ＤＸへの取り組み」という経営課題や、「デジタル化による業務効率化」「ＩＴ人材不足への対応」「セキュリティ強化」などの要望です。ＩＣＴの役割は単なる効率化だけではありません。「人と人をつなぎ、地域と地域をつなぎ、企業と企業をつなぐ力」があります、例えば、クラウドを活用することで離れた拠点同士で情報共有が容易になり、ＡＩやデータ活用によってこれまで経験に頼っていた業務を仕組み化することも可能になります。

また、ＩＣＴには「人・モノ・コトをつなぎ、新たな価値を生み出す力」があると考えています。人手不足への対応においても、記入、転記、集計などの定型的な作業を機械やシステムに任せることで、社員が新しい商品やサービスを生み出したり、お客様との関係づくりに力を注いだりする時間を確保できます。ＤＸは、単に業務をデジタル化することではありません。社員が新しい価値を生み出すための環境を整えることが、本来の目的だと思います。

―会議所会員企業へのメッセージをお願いします。

私たちは今、人口減少、人手不足、急速なデジタル化など、大きな変化の時代にあります。しかし、変化は課題であると同時に、新たな成長へのチャンスでもあります。人手不足への対応やＤＸの導入を進める際には、まず自社の現場を見つめ、どのような作業に時間がかかっているのか、どの業務が属人化しているのかを整理することが大切です。そのうえで、必要な部分からデジタル化を進めていけばよいと思います。

すべてを自社だけで対応する必要はありません。地域の企業や専門家、行政、関係団体と連携し、それぞれの強みを生かすことが重要と考えます。企業同士が知恵を出し合い、学び合いながら、地域全体で新しい価値を創造していくことが、これからの山形の発展につながると信じています。

「山形の可能性を信じ、未来を共に創る。」この思いを胸に、地域に必要とされ、社会になくてはならない会社であり続けられるよう、地域企業のＤＸ推進のパートナーとして、挑戦を続けてまいります。